

年間授業計画

東京都立東高等学校 令和6年度 年間授業計画 （ 2 学年 ）

教科：芸術科 科目：美術Ⅱ

対象学年組：2年1～7組

教科担当者：人見崇子

使用教科書：美術2 光村図書

教科の目標：

- 【知識および技能】
- 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を想像していく態度を養い、豊かな情操を培う。
- 【学びに向かう力、人間性等】

【知識および技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
画材の特性、素材の特質を生かした深い表現技法を目指す。	高校生らしい思考、姿勢、態度で総合的な判断力を生かし美的感覚の向上を目指す。課題完成までの制作計画、工程を理解し芸術性を高めることを目指す。	芸術表現を高め、密度のある完成を計画的に取り組むようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価基準	①知	②思	③態	配当時間
			絵・彫	デ	映						
1学期	年間カリキュラム 画材の確認 課題説明。実際の商品や作例を鑑賞し、商業デザインの意義を学び、考案することを目指す。 効果的な構成・構図や表現を目指す。 ドリンクラベルの描き方、立体物の描き方を習得する。 瓶素材・液体の表現方法、透明・不透明の描き方の習得を目指す。	年間カリキュラム 画材の確認 デザイン 「空想のドリンク・ラベルデザイン」				○	①モチーフの材質を理解して描けたか。想定課題を理解して透明・不透明を描いているか。レタリング文字を立体的に描く技術はできているか。 ②図案に工夫があり、デザインを生かした表現ができたか。液体の描き方、表現はできているか。 ③完成までの制作過程を理解していたか。表現は豊かであるか。加色、修正などをして、作品化できたか。	○	○	○	14
	課題説明。 画材・紙素材を生かした表現技法の習得を目指す。 白黒の効果を生かしたモチーフ選びと構図を目指す。 練習プリントでの線描画技法を学ぶ。 作例を通じて、線描画の魅力を理解し表現豊かに描くことを目指す。	絵画 「ペン画を描こう」	○			○	①練習プリントにより、線描画の技術を理解したか。白黒のコントラスト調整はできているか。 ②構図への工夫、アイデアは豊かであるか。線の密度があり、強弱の表現は理解されていたか。 ③完成までの制作過程を理解し制作は進められたか。ペン画の表現を理解し丁寧に作品化できたか。	○	○	○	12
2学期	課題説明。 画材・紙素材を生かした表現技法の習得を目指す。 作例を通じて、画面構成の工夫・画材を生かした表現や魅力を理解し豊かに描くことを目指す。 アイデア用紙の校正を繰り返し、内容の起承転結を意識させ、強弱のある作品構成を目指す。	絵画・デザイン 「絵本を作ろう」	○			○	①アイデア用紙の下描きを丁寧に仕上げていたか。画面構成を考え、起承転結や見せ場があるか。 ②下描きでは、画材を生かした表現を試みて、1学年からの学習は生かされていたか。 ③作例の鑑賞により、見直し修正や描き加え、変更などを的確に判断し、より豊かな作品化を目指したか。	○	○	○	8
	オリジナルの内容を考案し、思考力を高めることを目指す。 全体を構成することで総合的な創造力や構成力の育成を目指す。 鑑賞により、表現の多様性を発見し、応用力を高めさせる。 製本技術を理解し習得させる。 紙素材の特質や技術を理解し体験させる。	絵画・デザイン 「絵本を作ろう」	○			○	①本描きでは、ペン画やイラストレーションの技術を生かした着色ができたか。紙質素材を理解して描けたか。レタリング文字を応用できたか。 ②文書構成と作画表現が工夫されていたか。画材を理解して着色表現をしていたか。 ③作品の完成を意識し、画材や構成を生かした作品化を目指したか。製本工程を理解して丁寧に仕上げたか。	○	○	○	20

3 学 期	板材から作品の完成までを意識して、総合的な空間への美意識・構成力を高めるよう目指す。身近な素材を利用し、アイデアによりアートに変化する過程を見て表現の可能性を高める。	立体造形・デザイン・絵画「BOXアート」					①空間把握、板材素材の知識を理解したか。接着技術を理解できたか。作業工程を理解して作品化を目指したか。 ②素材や制作技術を総合的に把握し空間表現を試みているか。立体素材や平面構成の表現を理解しているか。透視図法、拡大図などの表現方法を取り入れ、空間を演出できたか。 ③作例を鑑賞して、具体的な工程を理解して制作に取り組めたか。制作時間を考え、作業工程を把握して作品化を目指せたか。総合的に芸術性を高めるよう取り組んだか。	○	○	○	16
	作品鑑賞により、空間デザインの可能性・探求心・面白さを味わえるようにする。透視図法やパース、拡大図などの技法を理解し、奥行への意識を高める。		○	○							
										合計	70